



Title	図書館不安について
Author(s)	三隅, 健一
Description	北海道地区大学図書館協議会主催, 第62回北海道地区大学図書館職員研究集会. 2019年8月2日. 北海道医療大学, 当別町, 北海道.
Citation	第62回北海道地区大学図書館職員研究集会記録, 62, 21-38
Issue Date	2019-08-02
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78985
Type	conference paper
File Information	slide.pdf, 発表スライド



図書館不安について

三隅健一

北海道大学附属図書館利用支援課北図書館担当
misumi@lib.hokudai.ac.jp

第62回北海道地区大学図書館職員研究会 調査報告
2019年8月2日 北海道医療大学当別キャンパス

「北図書」紹介：1年生の図書館

1



北海道大学附属図書館 北図書館

立地 初年次用講義棟の隣

年間入館者（H30） 約665,000人

1年生の占める割合 50-60%

1年生の来館頻度 ほぼ2日に1度
（R1年6月の平日 9.3日/20日）

利用目的・グループ学習・討論

- ・試験勉強、教科書の借用
- ・レポート、情報探索
- ・情報系の課題
- ・休憩・待ち合わせ

なぜ図書館不安か？

2

カウンターでの経験

質問したくない？

職員を
避けている？

レポートの
資料探しは順調？

図書館不安
library anxiety

もくじ

3

1. 図書館不安の概要
2. 図書館不安の症状と影響
3. 図書館不安の要因
4. 図書館不安の予防・減少・介入
5. まとめ

本日のねらい

4

図書館不安を知る

不安を持つ学生への支援

予防を通じた学習支援

1. 図書館不安の 概要



図書館不安の発見 (Mellon, 1986)

6

目的 学生が研究のために図書館を使うとき、何を感じているか

方法 学生に文献調査～レポート期間中の日誌をつけてもらう

作文クラスの教員と2年間連携
6,000人の日誌・エッセイを分析

結果 75-85%
図書館での文献調査の第一印象 = **恐怖・不安**

「恐ろしい」「恐怖症」
「学期中続いた悪夢」
「迷子になった」などの表現

図書館不安の4つの要因

8

図書館の規模

「自分の恐怖感は、
図書館の大きなサイズと
関係がある」

館内の配置がわからない

「どこに何があるのか、
誰に聞いたらいいか、
わからない。
言葉の違う外国にいるようだ」

何から始めるか

「図書館で調査をするときは、
いつも迷子に暮れる」

何をするのか

「毎日2時間くらい
図書館にいても、
何が起きているのか
全くわからない」

「質問したらよいはずだが」

10

文献調査に対する不安

なぜ質問しないのか？

質問ができない（したくない）

図書館不安の理論

11

学生は一般に、次のように考えている。

1) 図書館利用のスキルを

他の学生は**十分**備えているが、**自分は不十分**だ。

2) 不十分であることは

恥ずかしく、隠されるべきだ。

3) 不十分であることは、

質問することでわかってしまう。

▶ 質問ができない

出典: Mellon, 1986, p.162 のコメントを翻案。

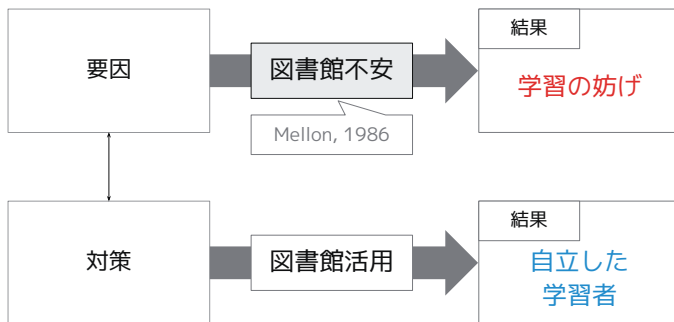
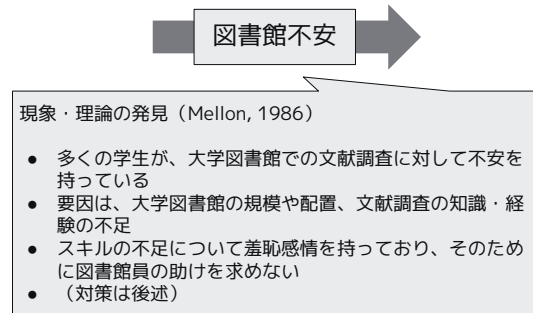
出典: Mellon, 1986, p.163 のコメントを翻案。

//

私は質問することが怖かった。
誰かを困らせたくなかったし、
バカだと思われたくなかった。

//

出典: Mellon, 1986, p.163 のコメントを翻案。



大学図書館への移行支援

2. 図書館不安の 症状と影響

定義

起こりうる失敗や不幸、あるいは
危機の懸念に基づいた不快気分 (略)
(心理学辞典 (2004) 丸善)

特性不安

ある個人において、
ある程度安定して持つ不安
[不安傾向における個人差]

状況不安

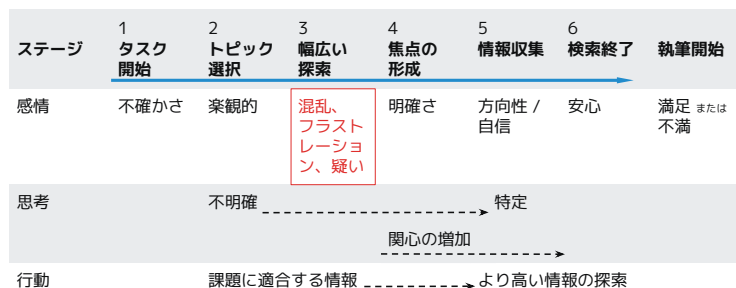
置かれた状況に対して、
一時的に持つ不安

図書館不安は状況不安 (Mech & Brooks, 1995)

- 個人の性格とは関連がない
- 多くの学生が図書館不安を持ちうる

情報探索プロセス (ISP) モデル

18

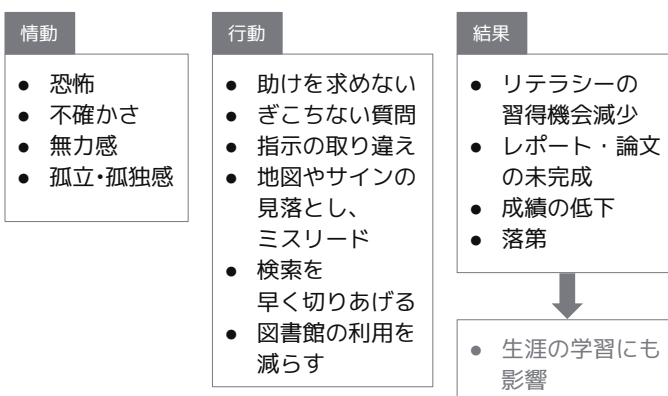


出典: Initial model of the Information Search Process (Khulthau, 2004, p.45) を翻案。

調査ははじめごろの不安は一般的

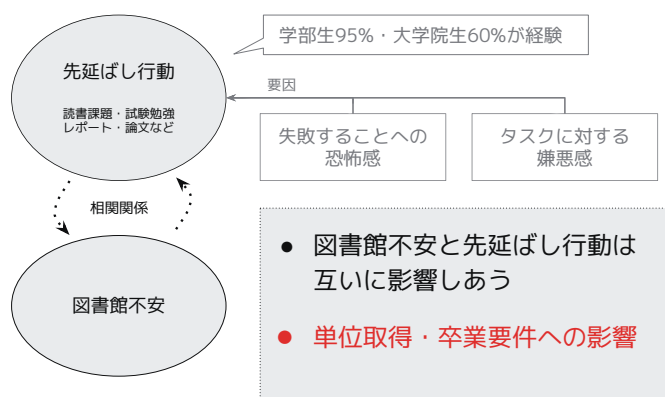
図書館不安の症状と影響

19



学業への影響 (Onwuegbuzie & Jiao, 2000)

20



学部1年生が持つ強い不安

21

- 1年生が最も高い。学年が進むにつれて、不安は減少する。
- 1年生の不安の様相
 - 図書館スキル：低いと感じている
 - 自信：あまりない
 - OPACの利用：問題ないと感じている
 - データベース：不安 (Mech & Brooks, 1995, 1997)
- OPACよりも、情報探索やレポート課題などの経験不足
- 本探し以上の支援
 - 研究プロセス
 - OPACにない資料の探し方・資料の批判

大学図書館への
移行支援

図書館不安の症状と影響（まとめ）

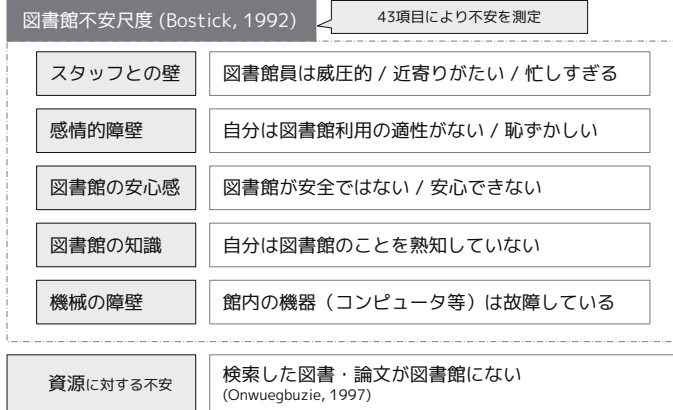
22

- 図書館不安＝状況不安
 - 大学図書館や研究課題による一時的なもの
 - 個人の不安特性は関連がない
- 情報探索プロセス (ISP) モデル
 - 研究初期段階の不安は一般的
- 影響
 - 図書館利用の減少 - リテラシー獲得機会の減少
 - 学業成績・先延ばし行動
- 1年生における高い不安 → 移行支援の必要性

3. 図書館不安の 要因

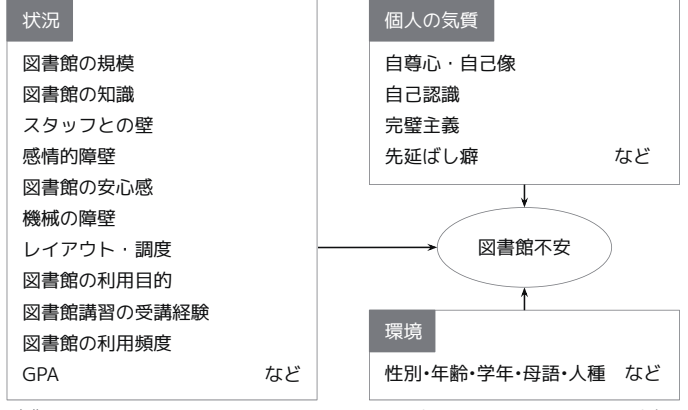
図書館不安の構成要素

24



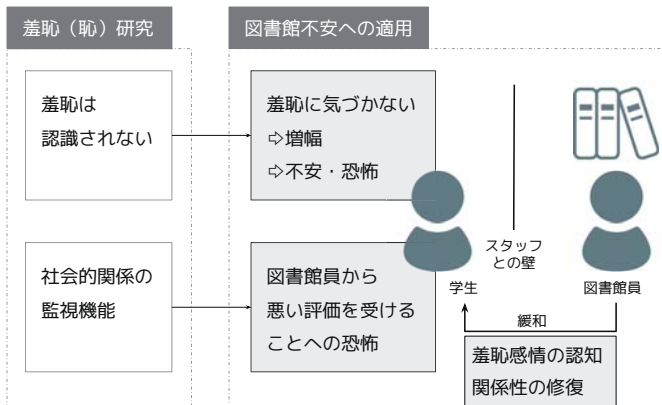
図書館不安の要因

25



羞恥: 図書館不安の情緒的原理 (McAfee, 2018)

26



図書館不安の要因 (まとめ)

27

- 図書館不安尺度 - 5つの構成要素
- 要因は千差万別
 - 個人の気質 / 状況要因 / 環境要因
- 羞恥の性質・機能 → 「スタッフとの壁」
 - 関係性の回復が必要

3つの切り口

29

- 1 セルフサービスの使いやすさの改善 (環境改善による予防)
- 2 情報リテラシー向上・不安の認知 (各種講習による予防・減少)
- 3 直接的な情報の提供 (人的支援による介入)

4. 図書館不安の 予防・減少・介入

3つの切り口

30

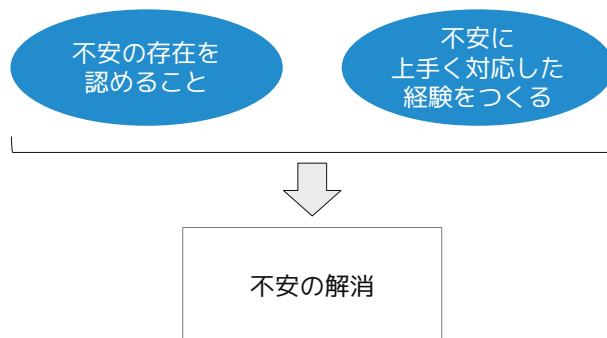
図書館の 環境・情報源	サイン、建物の雰囲気 論理的な動線・什器配置 資料の効率的な提供 図書館ツアー、パンフレットによる情報提供
図書館講習	情報検索・入手スキル 新しいインターフェイスの使用方法 リモートアクセスの使用方法 研究プロセスの理解 感情的障壁を取り扱うセッション
人的な情報探索 支援	カウンターにおけるレファレンス 巡回型レファレンス 個人向けの情報コンサル

出典: Summary of library anxiety prevention, reduction, and intervention procedures and strategies (Onwuegbuzie et al., 2004, p. 273) を翻案、一部削除・追加。

ぬくもりセミナー (Mellon, 1986)

31

考え方

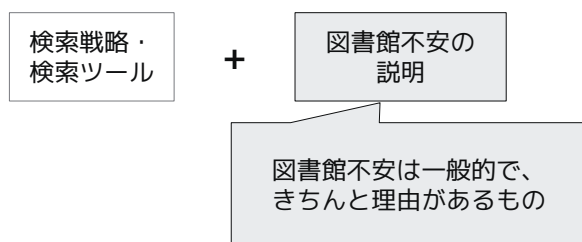


ぬくもりセミナー (Mellon, 1986)

32

新入生科目の50分セミナーを再デザイン

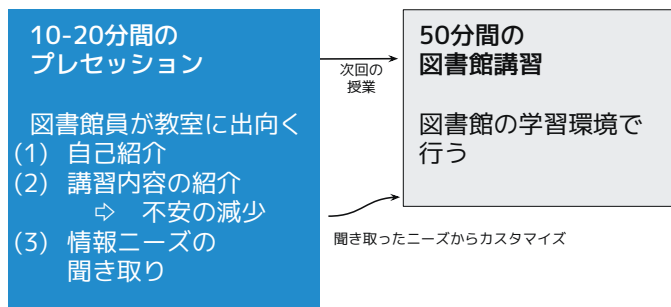
▶ 図書館に対する不安・恐怖感を取る



プレセッションによる不安緩和 (Vidmar, 1998)

33

問題提起：1回切りのセミナーでは効果が限定的
不安感情に着目した講習の方法



プレセッションによる不安緩和 (Vidmar, 1998)

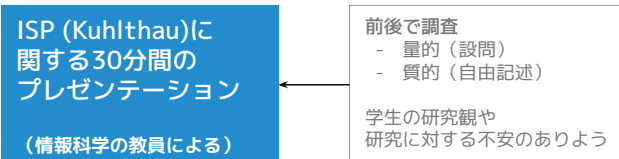
34

- 学生の準備ができ、不安が減少
→ 50分間の講習が充実
- プレセッションと本番の2回
→ 反復学習の効果
- カスタマイズ
→ 学生のコンテキストに合わせた検索演習
- プレセッションには、教員の協力が不可欠

情報探索プロセス (ISP) を教えることで不安は減る (Kracker, 2002) (Kracker & Wang, 2002)

35

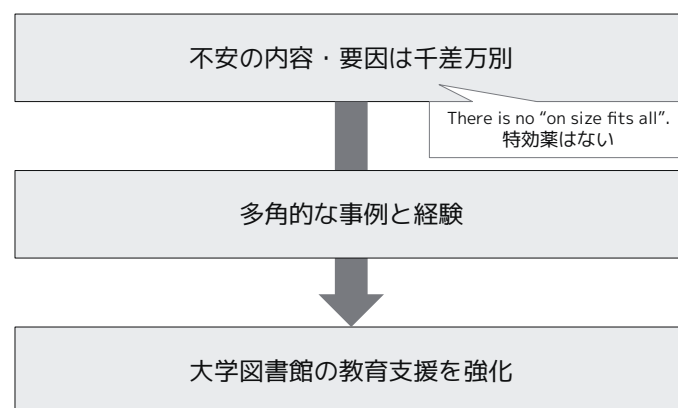
問題提起：ISPを教える効果を測定してみる



- ISPモデルを教えたら学生の不安は減少した
 - 研究プロセス中の感情を事前に知る
 - 自分の能力を過小評価せず、質問もできる
- 論文執筆に対する不安が高い
(図書館不安より広範な研究不安の存在)

- 不安になりにくい図書館環境を作る
- 「図書館不安」や「ISPモデル」について話す
 - 図書館不安の認知
 - 一般的・合理的であることの説明
- 個別の情報相談
- 図書館を不安を持つ個人の特定は困難
→ セグメントを想定した予防

5. まとめ



- 図書館不安に関する職員の知識
- できることから実践
- 教員との協力関係づくり

//

Library anxiety is real,
but so is library-discovery-joy.

図書館不安は実在するが、
図書館での発見の喜びもそうだ。

//

- Kracker, J. (2002) Research anxiety and students' perceptions of research: An experiment. Part I. Effect of teaching Kuhlthau's ISP model. *Journal of the American Society for Information Science and Technology*, 53(4), 282-294. <https://doi.org/10.1002/asi.10040>
- Kracker, J. & Wang, P. (2002). Research anxiety and students' perceptions of research: An experiment. Part II. Content analysis of their writings on two experiences. *Journal of the American Society for Information Science and Technology*, 53(4), 295-307. <https://doi.org/10.1002/asi.10041>
- McAfee, E. L. (2018). Shame: The emotional basis of library anxiety. *College & Research Libraries*, 79(2), 237. <https://doi.org/10.5860/crl.79.2.237>
- Mech, T. F. & Brooks, C. I. (1995). Library anxiety among college students: An exploratory study. Paper presented at the 7th National Conference of the Association of College and Research Libraries, Pittsburgh, United States.
- Mech, T. F. & Brooks, C. I. (1997). Anxiety and confidence in using a library by college freshmen and seniors. *Psychological Reports*, 81, 929-930. <https://doi.org/10.2466/pr0.1997.81.3.929>

- Mellon, C. A. (1986). Library anxiety: A grounded theory and its development. *College & Research Libraries*, 47, 160-165. <http://doi.org/10.5860/crl.47.02.160>
- Onwuegbuzie, A. J. (1997). Writing a research proposal: The role of library anxiety, statistics anxiety, and composition anxiety. *Library and Information Science Research*, 19(1), 5-33. [http://doi.org/10.1016/S0740-8188\(97\)90003-7](http://doi.org/10.1016/S0740-8188(97)90003-7)
- Onwuegbuzie, A. J. & Jiao, Q. G. (2000). I'll go to the library later: The relationship between academic procrastination and library anxiety. *College & Research Libraries*, 61, 45-54. <https://doi.org/10.5860/crl.61.1.45>
- Onwuegbuzie, A. J., Jiao, Q. G., & Bostick, S. L. (2004). *Library Anxiety: Theory, Research, and Applications*. Lanham, MD: Scarecrow.
- Vidmar, D. J. (1998). Affective change: Integrating pre-sessions in the students' classroom prior to library instruction. *Reference Services Review*, 26(3/4), 75-95. <https://doi.org/10.1108/00907329810307777>